

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指す学校像)</p>	<p>「多様な個性を尊び、未知なるものに挑戦する進取の精神を持った人材を育成する学校」 基礎基本を徹底した深い学びにつながる授業や独自の探究プログラム「嘉穂Dream Compass」を通して、地域から世界へ視野を広げ、持続可能な社会創りや次世代の科学情報技術を担う人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や日本を担い、さらには世界のトップリーダーとして活躍できる学力や教養を身につけた人材の育成 ・物事の本質や真理を追究する姿勢を身につけた人材の育成 ・信頼の意味を理解し、誠実に生きる姿勢を身につけた人材の育成 ・物事に動じない逞しい意思と生きていくために必要な体力を身につけた人材の育成 ・自主性、創造性及び多様な生き方を尊重する姿勢を身につけた地域創りに貢献する人材の育成 ・AIを活用し課題解決を図ることができる力を身につけた次世代を担う科学技術人材の育成 ・自ら将来設計を行うキャリアプランニング力を備えた人材の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路に対応したカリキュラム編成 ・基礎的、基本的な知識・技能を確実に習得し、リーダーに必要な深い教養を身につけることができる授業の実施 ・高度な研究課題に取り組むことにより課題解決能力を身につけることができる探究活動の実施 ・中高間及び学科・コース間の交流をとおして、協働の意義を学び主体性、自主性、創造性を育む学校行事を実施
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・向上心があり、志の実現に向けて自分の能力を伸ばしたい人 ・さまざまな人と協力し、自分や集団の成長のために努力できる人

学校運営計画(4月)				
学校運営方針	校訓に掲げる精神を實踐するとともに、多様な生き方を尊び、未知なるものに挑戦できる人材の育成			評価(総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
<p>生徒が主体となって学校生活を送るという姿勢を育むことができた。また、基本的な生徒指導や発展的な学習指導を実施していくことで、生徒の主体性、創造性、多様な生き方を尊重する姿勢と新たな時代が求める学力を育成することができた。 真の主体性を育むための教育活動の充実と更なる学力向上のためのAI活用を含めた教員の指導力向上が課題である。</p>	<p>「礼節」「多様な個性」を重んじ、高い人権意識を持つ生徒の育成を図る。 未知なるものに挑戦する力の基盤となる「主体性」「自主性」「創造性」の育成を図る。 課題解決力の基盤となる「知識・技能」の着実な習得、及び「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。 「嘉穂Dream Compass」を軸として、生徒の個性、並びに、自ら考え行動する能力を開発し、自己実現しようとする生徒の育成を図る。</p>	<p>○職員研修の実施や、職員の適切な言葉遣いの徹底により、職員の人権感覚や人権意識の高揚を図り、強い人権意識に基づいた教育活動を実施する。 ○教育活動全般における人権教育や他者との協働の充実により、生徒の人権感覚と豊かな人間性の育成、並びに他者への配慮の徹底を図る。 ○週祭(文化祭)・大運動会等の生徒会行事及び部活動等における生徒の主体的な取組を積極的に支援・指導することにより、生徒の「真の主体性」「自主性」「創造性」を育む。 ○教科の「(3ヶ年)(6ヶ年)到達目標」や「シラバス」を充実させることにより、生徒が、明確な目標と見通しを持った主体的な学習者と成長するよう導く。 ○全職員が「学び」における生徒の成長の見取りと学力の向上(指導と評価の一体化)を自己評価の項目に位置づけ、年間を通して研鑽し取り組む。 ○教員が質の高い授業と質の高い学習を実施することにより、「深い学び」に繋がる問いを実施し、生徒の学力を向上させる。 ○授業の検証と、各教科での考査及び模試結果等の分析を確実にに行い、指導方法の改善を図ることにより、生徒に「基礎的・基本的な知識・技能」を確実に習得させ、高い「思考力」「判断力」「表現力」を育成する。 ○AIを活用する力を伸ばし、主体的に判断する力や課題解決を図る力を育成する。 ○嘉穂Dream Compass(教育活動全体での「知る」「深める」「発信する」)において、実社会とのつながりを大切に体験や取組、研究・探究活動をとおして、高い志を育み、自らの個性や能力を伸ばそうとする意欲に満ちた生徒を育成する。</p>		
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
学習指導	<p>目標と見通しを持ち、主体的に学ぶ生徒の育成 学習における生徒の成長の見取りに基づいた授業改善</p>	<p>各教科・科目等の授業を通じ、単元ごとに「深い学びに繋がる問い」を充実させ、生徒の思考力を向上させる。 「シラバス」を充実させ、「シラバス」に基づいた教科指導を行うことで、生徒が見通しを持って学習できるようにする。 生成AIアプの活用状況を見取り、生徒の自主的な学習につなげられるよう指導する。 定期考査前の学習時間調査と成績データの比較・検証を行い、結果を教員・生徒にフィードバックする。 観点別学習状況の評価と外部模試等の客観的データを比較・分析し、定期考査の質の向上を図る。 教員が「各教科到達目標」を適宜振り返り機会を設けることで、日頃の授業改善に繋げる。</p>	<p>定期考査前の学習時間調査</p>	
生徒指導	<p>規範意識の高揚と生徒の真の主体性の育成 心身の健康づくりと多様性を尊重する態度の育成</p>	<p>全ての教育活動において教員及び生徒の言語環境を整え、生徒と教員の健全な信頼関係を築く。 生徒主体の生徒会活動を促進するため、他校との生徒会交流やリーダーズ研修を充実させる。 学校行事の企画・運営で培った創造力や実行力及び協働性を活かし、日常において主体的に行動できる生徒の育成を図る。 生徒への声かけを充実させることにより、生徒に安心感を与え、安定した情緒と自他共に大切にできる思いやりの心を育む。 面談やスクールカウンセリング等の教育相談で保護者等との連携を強化し、その充実を図る。 表化活動の意義を理解させ、清掃活動など主体的に環境整備や改善に努めることができる生徒を育成する。</p>	<p>行事ごとの生徒意識調査 学校生活アンケート</p>	
進路指導	<p>第一希望進路実現に向けた確かな学力の定着と深い学びの深化 自己の生き方・あり方を考え、キャリア形成する力の育成</p>	<p>1・2年「学びの基礎診断」などの模試分析を充実させるとともに、分析結果を共有して教科ごとの学力定着の目標値の達成を図る。 前年度の入試の成果と課題を検証し、分析結果を踏まえて課外の内容を検討し、受講者増と学力向上を図る。 「総合的な探究の時間」の成果と連携させるなど学校全体で縦関大総合型・学校進路型対策の充実と組織化を推進する。 生徒の進路と結び付けながら「総合的な探究の時間」の活動内容の改善を図る。 生徒のキャリア形成につながるよう研修旅行等のKDC事業の深化を図る。 講演会及び校外活動等の機会を活用し、視野を広げること「志」を育成する。</p>	<p>進路希望調査 各種研修アンケート</p>	

様式3

研修	研究授業・研究協議を円滑に実施し、授業の質の向上を図る	「深い学びにつながる問い」を各授業の実践テーマとし、すべての教科で研究授業を実施する。 授業評価アンケートの内容充実及び実施後のすみやかな返却を通して、各教員の自己研鑽を促す。 各教科を中心に教科レポートの作成を推進し、研修報告集に掲載する。	授業評価アンケート	
	PTAの支援体制の充実および校内の環境整備	PTAとの連携を密にし、事業の企画・立案を早期に実施する。 「危機管理マニュアル」をもとに、実際に即した防災避難訓練を実施する。 職員室や準備室の整理整頓を推進し、職場環境の向上を図る。	公開授業アンケート	
第1学年	主体性・協働性を尊ぶ態度の醸成	生徒に役割を与え、集団の中で協働する場を意図的に設定する。 活動前の意義の確認、活動後の振り返りを行わせ、言語化による明確な意識化を図る。 生徒がそれぞれの学びや活動、体験の中で得たものを共有する時間を設ける。	到達度テストアンケート	
	自ら目標を設定し、計画的に行動できる生徒の育成	ベネッセマナビジョンを活用し、自らの学びを自ら分析できる態度を養う。 生徒による学習計画の立案、実行に対して適宜フィードバックを行う。 基礎問題の繰り返しを通して、できる実感を持たせる。	学校満足度調査	
第2学年	多様な価値観の尊重、他者と協働しながら主体的に行動できる生徒の育成	諸活動の中で、対話を通して他者・自己理解を深らせる。 望ましいゴール像を考えさせることで、主体的に動くことを奨励する。 生徒それぞれの経験語る場を用意し、言語化を通して自分の身に付けた力を認識させる。	到達度テストアンケート	
	基礎的な学力を土台として、自ら課題を発見し、主体的、継続的に学びに取り組む生徒の育成	自学の記録を利用することで学びの可視化と習慣化を促す。 スモールステップを用意し、一つずつ理解を深めさせ、できる実感を持たせる。 学級の枠を超えた活動を展開し、多様な人物との議論のうえ新たな価値を創造する経験を支援する。	学校満足度調査	
第3学年	先を見据えた学習の継続による、第一希望進路実現	学習のPDCAサイクルを確立させ、確かな学力が身につけられるよう支援する。 定期考査や模擬試験の結果分析を詳細に行うとともに丁寧な教育相談を実施し、指導方法の改善と進路指導の充実を図る。 質の高い授業を行い、社会の諸課題を解決するために必要な知識・技能を確実に習得させる。	到達度テストアンケート	
	社会に貢献する人材の育成	教育活動全体を通して生徒の人権感覚を磨き、学年が生徒一人ひとりの居場所となるよう支援する。 履上級生として学校生活を送る中で、集団の一員としての自己の在り方を考えさせ、その発展に貢献できるよう支援する。 酒除祭や大運動会の企画・運営を通して主体性と創造性を高め、地域社会に活力をもたらす。	学習時間調査 学校生活振り返りアンケート	
理数科	基礎的・基本的な知識・技能及び課題解決能力の育成	基礎・基本の徹底を図り、発展的な内容を取り扱った授業を展開する。実験や実習などの体験的な学習を充実させる。 3年間を見通した授業進度の工夫、演習問題の精選により確かな学力をつけさせる。 理数探究において、生徒の主体的活動を支える指導を行う。	各種研修満足度調査	
	理数科行事の充実による、より具体的な将来像の育成	校内外の課題研究発表会等への積極的な参加を図る。 校内理数科交流会、大学訪問、施設見学、大学講義を通して進路意識を高めさせる。 高大連携を行い、大学教授からの指導助言を仰ぎ、より高度な探究活動を行う環境を整える。		
武道・日本文化コース	武道・日本文化コースの生徒育成像及び進路指導方針の校内外への周知	生徒育成像及び進路指導方針を全職員に周知するとともに適宜その内容を検証・改善する。 校内外に開かれたコースになるよう広報活動を充実させる。	授業アンケート	
	幅広い知識と教養を身に付ける、コース独自の行事の検討	武道・日本文化コース説明会の内容を精査し、効果的に実施する。 模試や定期考査等の分析を行い、成績の実態を把握する。 日本文化実習の内容を精査し、習熟度授業の充実による基礎基本の定着を図る。 学校設定科目で実施したものを総合的な探究の時間とリンクさせる。	説明会でのアンケート	
学校いじめ防止基本方針	いじめの未然防止	教育活動全体を通して、言語環境を整え、他者へ配慮できる生徒の育成を図る。 いじめが起きにくいいじめを許さない環境をつくるために、HR活動の充実と学期に1回エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを行う。 生徒主体の生徒会行事を通じて、達成感や自己肯定感を高揚させる。	いじめアンケート	
	いじめの早期発見・事案対策	生徒へのアンケートを月に1回、保護者へのアンケートを学期に1回行う。 いじめ問題対策委員会における組織的かつ迅速な対応を行う。 教育相談を年に3回、保護者面談を年に2回実施する。	学校生活アンケート	